



西海市

議会

だより

The SAIKAI
Municipal
Assembly
News

No. 49

2018年
2月2日発行



お も な 内 容

- 市民と議会のつどい開催報告 P2
- 平成29年第4回西海市定例会 P3~P5
- 一般質問 P6~P11
- 傍聴、議会だより表紙写真の募集の案内... P12
- 会議録検索システムの案内 P13
- NBCデータ放送の紹介 P14
- 市民の声 P15
- 議会クイズ、編集後記 P16

《今年は戌年》

「想」愛犬マリモ

平成29年度県展西望平和賞

一瀬 章雄 氏(西彼町白似田郷)

『市民と議会のつどい』を開催しました

西海市議会では、市民の皆さまと意見交換を行い、よりよいまちづくりを活かすため『市民と議会のつどい』を開催しています。

第4回目となる今回は、西彼杵高等学校と西彼農業高等学校にうかがい、『皆さんが考える住みやすい街について』、『西海市の将来について』、『皆さんが政治に期待している事』、『人口増に関して皆さんが考えている事』などをテーマに意見交換を行いました。

それぞれ3年生に在学する生徒に参加いただきましたが、率直で非常に良い意見を伺う事ができ、大変有意義な意見交換の場となりました。



挨拶をする平野議長



西彼杵高校との意見交換風景



西彼農業高校との意見交換風景

平成29年第4回定例会

会期 平成29年12月1日～12月15日〔15日間〕

第4回定例会で審議された議案等は次のとおりです。

市長提出議案	22件
請願	0件
意見書	0件
計	22件

これらの議案等のうち、所管の常任委員会に付託された22件の議案は、各委員会において担当部局から詳細な説明を受け、慎重に審査されました。本議会において請願はありませんでした。

(付託内訳)

総務文教常任委員会	10件
産業建設常任委員会	7件
厚生常任委員会	4件
予算決算常任委員会	1件

また、常任委員会の閉会中の継続調査事項について、総務文教常任委員会から「学力向上について」「スクールバスについて」「ふるさと納税について」の3件、産業建設常任委員会から「有害鳥獣対策について」の1件の申し出があり、各委員会からの申し出のとおり決定されました。この議会閉会中の継続調査については、調査終了後に議会だよりを通じて報告したいと思っております。



市政一般質問は12月5日～7日までの3日間行われ、12人の議員が質問に立ちました。(質問の概要については6ページから11ページに掲載)

全議案の審議結果は下記のとおりです。

なお、12月定例会の本会議の傍聴者数は延べ54人でした。

次期定例議会は3月2日開会の予定です。たくさんの方々のお越しをお待ちしております。

平成29年第4回議会定例会で審議した案件及び結果

議案番号	件名	議決の結果
議案第72号	西海市組織条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第73号	西海市税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第74号	西海市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第75号	西海市営住宅管理条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第76号	西海市スクールバスの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第77号	西海市体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第78号	西海市青少年スポーツ振興基金条例の制定について	原案可決
議案第79号	西海市過疎地域自立促進計画の変更について	原案可決
議案第80号	財産の取得について	原案可決
議案第81号	財産の無償譲渡について	原案可決
議案第82号	西海市崎戸さんさん元気らんの指定管理者の指定について	原案可決
議案第83号	西海市鳥崎釣船係留施設の指定管理者の指定について	原案可決
議案第84号	市営住宅の建物明渡請求事件に関する訴えの提起について	原案可決
議案第85号	平成29年度西海市一般会計補正予算(第4号)	原案可決
議案第86号	平成29年度西海市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第87号	平成29年度西海市簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第88号	平成29年度西海市下水道事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第89号	平成29年度西海市工業団地整備事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第90号	平成29年度西海市交通船特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第91号	平成29年度西海市介護保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第92号	平成29年度西海市水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第93号	平成29年度西海市工業用水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決

総務文教常任委員会

総務文教常任委員会では、議案10件の審査を行いました。

議案第78号 西海市青少年スポーツ振興基金条例の制定について
原案可決

この議案は、市内の小学校、中学校及び高等学校の児童生徒が行うスポーツ活動や県又は国の代表として九州大会などに出場する場合の支援事業を行うことを目的として制定するものです。基金の額は5億円を積立し、今後、その運用利益や取崩しにより児童生徒の健全育成のための支援を進めて行くこととなります。

質疑 支援の対象となる具体的な内容は。

答弁 例えば九州大会に出場する場合、選手はもとより監督やコーチなどの旅費を支援することになる。また、児童生徒のスポーツ振興のための施設整備についても対象となる。

質疑 文化面の振興はどのように考えているのか。

答弁 文化面の振興のための施策についても、今後、検討したいと思う。

議案第76号 西海市スクールバスの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
原案可決

この議案は、平成30年4月1日に開校するとさわか台小学校（現亀岳小学校）に関し、スクールバスの利用対象

校及び運行区域を改正するものです。
質疑 児童の通学に関し、安全確保をどのように図られる予定か。

答弁 スクールバスの降車場所は、学校敷地に隣接する私有地を購入し、整備する予定である。児童の交通安全教育も行うこととしている。

質疑 児童の体力的な健康維持のためスクールバスを途中下車し、徒歩により通学させてはどうか。

答弁 児童の体力的な健康維持のため、歩くことは大切なことかもしれないが、初めて通学する道である児童もいることから、安全確保のため、途中下車はしないこととしたい。

議案第72号 西海市組織条例の一部を改正する条例の制定について
原案可決

この議案は、市長部局の組織を改編し、西海ブランドの育成による物産部門の強化及び交通政策や離島振興業務の重点化を図るための改正です。産業振興部に「情報観光課の観光物産班」及び「商工企業立地課の商工部門」を統合し、同部を「西海ブランド振興部」へ改名するほか、基地対策や消防防災など危機管理体制確立のための特化した部署等を設置することとなります。

質疑 市民にとっては、「西海ブランド振興部」と聞いても分かりづらいのではないか。

答弁 広報誌などを通じて丁寧に説

明する。

質疑 職員の資質向上をまずは図るべきではないのか。

答弁 資質向上や人材育成を含めて、様々な研修会に職員を派遣している。当然ながら、職員自らの意識改革も必要であり、職員への意向調査を行っている、やる気のある職員の登用を図っている。

議案第81号 財産の無償譲渡について
原案可決

この議案は、旧大島中学校校舎について、(株)大島造船所から移譲の申し出があり、遊休施設の有効活用で地域の活性化が図られることから無償譲渡することについて議会の議決を求めるものです。

なお、この議案は、委員会での委員外議員の発言の申し出もありました。

質疑 社会教育施設として利用している体育館（旧大島中学校体育館）はどうなるのか。

答弁 体育館は譲渡しない。そのまま社会体育施設として活用する。

質疑 移譲先が行う福利厚生施設は市民も利用できるのか。

答弁 移譲先が福利厚生施設として整備する温浴施設などは、将来的には一般開放すると聞いている。市民も利用できることとなる。

質疑 地域振興を目的として無償譲渡するのであれば、まちづくり担当部署との連携が必要だったのでは。

答弁 まちづくり担当部局との連携が不足していた。今後は、関係部署との連携を図りたい。

産業建設常任委員会

産業建設常任委員会では、条例案1件、補正予算案4件、その他2件の審査を行いました。

議案第75号 西海市営住宅管理条例の一部を改正する条例の制定について
原案可決

この議案は、崎戸町東山団地（鉄筋コンクリート造り3階建て12戸）を用途廃止し、この条例から削除するための条例改正です。

質疑 現在、団地に住まわれている方の転居について、話は済んでいるのか。

答弁 趣旨も理解してもらい、1月初旬の予定で移転していただく話になっている。

質疑 転居先と家賃の変動はあるのか。

答弁 規定に基づき段階的に家賃を近づけていくように話をして、了承してもらっている。

議案第83号 西海市鳥崎釣船係留施設
の指定管理者の指定について
原案可決

この議案は、漁船及び遊漁船の係留を目的として、平成元年に設置された施設について、鳥崎釣船浮桟橋利用者組合を指定管理者として選定するためのものです。

質疑 平成元年に施設が出来た当初から、この組合が管理をしていたのか。

答弁 当時は組織として運営されていなかったため、基本的には利用される方で日常の点検や清掃を行っていた。

質疑 現在、何隻係留しているのか。

答弁 現在は23隻が係留している。26隻の係留が最大ではないかと思われる。

質疑 現在、係留している漁船と遊漁船の割合は。

答弁 漁船が8隻、遊漁船が15隻の計23隻である。



鳥崎釣船係留施設

厚生常任委員会

厚生常任委員会では、4件の議案の審査を行いました。

議案第73号 西海市税条例の一部を改正する条例の制定について
原案可決

議案第74号 西海市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について
原案可決

税の納期を分割する場合、税額を分割した際に発生した端数については、これまで地方税法に基づき1,000円未満を1期目に合算する事となっており、1期目と2期目の納付額の差額が大きくなっていました。当該改正条例の制定により、1期目に合算する端数を100円未満とし、1期目と2期目の差額を小さくして平準化することで納付者の負担軽減を図るものでした。

現行と改正後の比較

(例:年税額29,900円の市県民税を10期で納める場合)

29,900円 ÷ 10 = 2,990円
(1期当たり納税額)

現行 : 1,000円未満の端数を1期目に合算
1期 11,900円 2期~10期 2,000円
2期と1期の差額 9,900円

改正後 : 100円未満の端数を1期目に合算
1期 3,800円 2期~10期 2,900円
2期と1期の差額 900円

議案第86号 平成29年度西海市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
原案可決

主に一般被保険者療養給付費、退職被保険者等療養費の不足分の増額のための補正で、補正額1億5,951万3,000円を追加し、歳入歳出予算総額を52億6,958万円としたものでした。

議案第91号 平成29年度西海市介護保険特別会計補正予算(第2号)
原案可決

補正の主な内容は、保険給付費及び地域支援事業費について、決算見込みによる増減を行うとともに、介護保険制度改正による介護保険システム改修に伴う委託料の増額、介護保険事業計画及び老人福祉計画策定業務に伴う委託料の減額を行うもので、2,062万9,000円を減額し、歳入歳出予算の総額を36億94万9,000円とするものでした。

予算決算常任委員会

予算決算常任委員会では、議案1件の審査を行いました。

議案第85号 平成29年度西海市一般会計補正予算(第4号)
原案可決

既存の予算に26億7,801万9千円を追加し、歳入歳出の総額を245億9,062万3千円とするものです。補正の主な内容は、歳入では、大口

法人の実績及び予定申告額の確定による法人市民税法人税割の減額や、交付額確定に伴う助成交付金の増額等が計上されています。

また、歳出では、老朽化した大瀬戸デイサービスセンターの改修事業や人手不足に悩む農家の作業員確保を支援する雇用農業導入支援事業のほか、将来の公債費の負担軽減による安定的な財政運営を図るため、減債基金を活用した約21億円の地方債の繰上償還に要する経費などが計上されています。



改修が行われる大瀬戸デイサービスセンター



一般質問



議員 岩本 利雄

▼通学バスの早急な是正を

問 旧多以良小学校は、平成25年4月に当時の瀬戸小学校、多以良小学校、松島小学校、雪浦小学校幸物分校の4校が統合し、現在の大瀬戸小学校を新設している。

旧多以良小学校区における統合当初の通学バスは、スクールバスを要望したが、路線バスが運行されているという理由から、小学生専用の大型バス1台が運行されることになった。

平成28年秋ごろ、運転手を確保できないとのバス会社の事情から、従来、中学生専用で運行されていた大型バス1台に、小学生も同乗するよう変更された。その際、全員の座席の確保が約束されている。

平成29年の新学期から、関係者に何の連絡もなしに、バス会社の都合で大型バスから中型バスに変更された。中型バスでの不具合を知った保護者の方が、約束が違うと学校へ連絡し、7月にバス会社の説明会が実施されている。

退職者増による運転手不足、老朽

化による大型車の不足から、現状を打開することができない旨の説明を受けている。その席には教育委員会は出席していない。この一連の経緯については、間違いないか。

教育長 議員の発言通りだと確認している。

問 中型バスは車内スペースが十分でなく、小学生はストレスを感じ、保護者の方は不安を覚えている。統合時の約束事が履行されず、連絡なしに中型バス1台に変更されている。早急に是正すべきである。

市長 通学バスにストレスを感じさせないというのが、小学校統合する際の条件の一つだったと思う。小学生がストレスを感じない、保護者の皆さんが不安を覚えないような運行状態を、来年度から実施できるよう最善の努力をする。



議員 澁谷 栄子

▼災害救援物資の備えを万全に

問 救援物資の備蓄数量の不足はないか。また、松島地区には備蓄されておらず、江島・平島地区の備蓄数も十分ではないか。

市長 物資の備蓄数については、市全体としても不足があり、解消に努めたい。松島地区の備蓄や、江島・平島地区の備蓄数の見直しも検討する。

保健福祉部長 レトルト食品は5、994食、飲料水は1万620リットルが不足しており、早急に必要数を確保する予定である。



備蓄されている災害救援物資

▼社会福祉協議会運営補助費の増額を

問 西海市社会福祉協議会への運営補助費が大幅に減額になっている状況を見直すべきではないか。

市長 合併初年度は地域福祉推進に係る人件費を全て補助していたが、事業内容を精査し、現在に至る。赤字運営にならないよう今後も連携強化する。

▼手話言語条例制定を

問 手話言語条例制定に向けた取り組みを進める考えはあるか。

市長 調査研究を行い、早ければ3月議会に提案したい。

▼LCCAC夜間航行訓練の続行を止めるには

問 米海軍は本市の中止要請を無視してLCCACの夜間航行訓練を強行した。訓練続行を許さないための今後の対策と基地対策室の設置の考えは。

市長 直接、国に要請したので高いレベルで国と米海軍が協議することを期待し、関係する団体と連携を密にし、引き続き協定書の遵守を訴えていく。防災や消防、基地を含めた専門部署を設置する準備をしている。



一 般 質 問



清水 正明 議員
しみず まさあき

建設行政について

問 橋梁やトンネルの定期点検の義務付けから3年が経過したが、本市における点検の実施状況を伺う。また、建設技術に携わる職員の人材育成にどのように取り組んでいるのか、土木職の採用が必要ではないのか伺う。

市長 橋梁等の定期点検については、平成30年度までに、橋梁の1回目の点検を終える予定としている。建設技術者の育成については、官民が主催する研修会への参加や民間会社での建設技術経験者を職員に採用するなど、建設技術の向上を図っている。

下水道行政について

問 下水道事業については、平成32年度から企業会計へ移行すると聞いている。公営企業体へ向け、どのような取り組みを進めているのか伺う。また、公共下水道工事の監督管理については、法令に定められた資格が必要であるが、その配置状況を伺う。

市長 下水道事業の企業会計への準備として、平成28年度から3年間で資産調査、経営戦略策定及び移行

支援業務を委託している。また、公共下水道工事においては4名の資格者を配置している。今後も適正な監督管理を行う。

地方公務員法、地方自治法の一部改正について

問 法改正により平成32年度から、臨時、非常勤職員の勤務条件が変わるが、本市での雇用状況を伺う。また、会計年度任用職員への任用までのスケジュールを伺う。

市長 臨時職員30人、非常勤職員182人、計212人となっている。今後のスケジュールについては、既に庁内調査を実施し、募集活動を平成31年度初頭に予定しているため、その前の議会において、条例の改正を行うこととしている。



瀬戸浄化センター



小嶋 俊樹 議員
こじま としき

放置状態となっている温泉施設の建設は

問 合併当時、健康増進と交流人口の増進のために、西海町木場に事業計画された温泉施設の建設は排水や事業規模などの問題が解決されず、中止された。現在、温泉はどのような状態であるか。

市長 温泉施設を活用するためには、可燃性天然ガスを除去するためのガス分離設備、排気口及びレジオネラ属菌対策設備を設置しなければならぬことから、多額の費用がかかる。約8年間温泉の利用を休止している状況である。現在では、水中ポンプ、スルース弁、電極など各設備がさびているものと推測している。

問 再開発をするとしたら、どのような施設整備が必要となるか。

市長 電気の通電がなされていない状況から、まずは、電気を通電し、ポンプの状況を確認する必要がある。改修内容が大きく変動するため、概算の費用も算出できない。加えて、温泉法改正時に検討していたガス分離設備な

ど各設備の設置が必要である。

問 1億円かけてボーリングした、この施設を市民の為に有効利用してほしいと多くの住民が望んでいることを承知しているか。

市長 特に西海町を中心に市内各所で色々な方々から温泉施設の有効利用については伺っている。

問 調査費用を含めて、再開発は可能か。

市長 その必要性は感じている。西海市内の地域間の均衡ある発展は基本であり、まず、調査から始めていきたい。





一 般 質 問



う ち の し げ き
内 野 繁 樹 議 員

本市における公立医療機関の設置について

問 先の答弁で、必要性は感じておられたが、検討は行われているのか。また、設置に関する検討委員会等を設ける考えはあるのか伺う。

市長 医療機関設置の必要性についての検討は実施していないが、西海市在宅医療・介護連携検討協議会において、後期高齢者人口がピークになる2025年をめどに医療、介護の提供体制の構築に向けて連携推進を図っている状況である。

崎戸温水プールの再開を望む

問 市民のニーズや、再開を要望する声も多くあるが、再開についての考えは。

市長 再開には相当の費用がかかるが、今後ますます市民の高齢化が進むことや、様々なスポーツのニーズが高まることも想定される。高齢者の健康保持や市民の健康づくりの観点から、市内にも何らかの施設が必要ではないかと考えている。



稼働休止中の崎戸温水プール

公共交通機関の運行状況について

問 学校の登下校、医療機関の受診、海路交通の発着時間等、運行時間は実情に沿っているのか伺う。

市長 現在、新しい交通システムの構築に向け、公共交通の把握調査、事業者のヒアリング、市民アンケート調査を実施したところである。法律の改正に伴い、新たに地域公共交通網形成計画の策定が求められており、平成30年度中には、策定して切り替えることとしている。

市民と議会のつどいを西彼杵高校で開催した際、午後4時に授業が終了するが、近くバス停の発車時間が4時2分であるとの意見があった。この現実をどう考えているか。

市長 状況を一度、洗い直して、再検討をしたい。

その他の質問：西海市タウンづくりにマスタープランについて



すぎやま せいじ
杉 山 誠 治 議 員

公営アパートの現状について

問 市営アパートに空き部屋が目立っているが、その原因を調査し、対策は講じているかを伺う。

市長 大島町と崎戸町での空き家戸数が多くなっているが、一因として、人口比に対して市営住宅の戸数が多い状況であり、人口が減少して行く中で、需要も減少しているのではないかと考える。対策は、県内の他市では年間3回から4回の募集が多く、本市では毎月募集し、入居希望に対して随時対応できるようにしている。

県営住宅を含む公営住宅において、共働きの場合、家賃が高過ぎるため市内に住むことが出来ないうという住民の意見があるが、現状はどうなのか。

市長 家賃は公営住宅法の規定に基づき、毎年決定している。公営住宅は生活に困窮する低所得者に対して、低廉な家賃で賃貸することを目的に整備されているので、所得要件が設定されており、入居申込み時に

基準額以上の所得がある場合は入居できない。また、入居後に世帯所得が上位の基準額を超えた場合には、一定期間が経過した後、明け渡さなければならぬ。その場合、制度上、家賃が高額となることもある。

問 公営住宅に関して、市内定住促進のための取り組みと県に対して家賃減額等の働きかけを行う考えはないか伺う。

市長 県に対する働きかけは、公営住宅法に基づき運営されているため、難しい。定住促進の取り組みは、長期的な視点に立った市営住宅の整備や維持管理を行っていくよう西海市公営住宅等長寿命化計画を策定しており、この計画に基づいて市営住宅の修繕や改善、建て替えなどを進めている。また、国や県などの遊休施設等を購入して、単独住宅として整備を図る一方、民間によるアパート建設を推進するため、民間賃貸住宅建設促進事業補助金制度を創設し、定住促進のための取り組みを進めている。





みやもと かずあき 議員
宮本 一昭

救急搬送体制の整備について

問 西彼町南部地域においては、消防出張所から遠方に位置するため、救急車の到着に時間を要し、到着までの間、住民が不安を抱えている。今後、ますます高齢化社会を迎え、その搬送体制が重要になるが、搬送体制について再整備の考えはないか伺う。

市長 西彼町南部地区は西彼出張所からは遠い位置にあり、地区の皆様が不安に思われていることは重々承知している。

長崎県では、現在10消防本部から1消防本部を基本案として、長崎県市町消防広域化推進計画が策定されており、もし、これが実現すると長崎北消防署琴海出張所からの緊急出動も期待できるが、いまだ具体的な見込みが立つような協議までは進んでいないのが現状である。

総務部長 国としても自治体の境界付近における消防署の共同設置等が具体的に提言をされている。今後の具体的な動きは平成29年度から平

成35年4月1日までの6年間、これを答申の推進期間として捉えて、今後進めていくということで聞いている。

問 各消防団格納庫にAED装置を設置する考えはないか。

市長 消防団格納庫と限定するのではなく、その地区にとって、実情にあった設置場所を選定していく必要があるかと考える。

総務部長 自主防災組織がほとんどの地区で立ち上がっている。その自主防災組織を中心に、協議をしていければと考える。

公共施設の活用について

問 白似田小学校跡地の今後の活用策について伺う。

教育長 体育館、屋外運動場は、今後も社会体育施設として活用する。これまでの学校が持つ地域コミュニティの核としての性格を考慮し、地域住民の交流施設としての活用など、

白似田小学校区の地域の意見や提案等を聞きながら、対応していきたい。



廃校になる白似田小学校

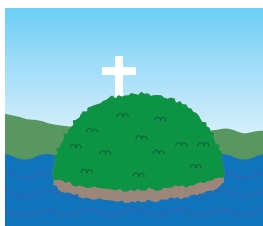


うら よしひこ 議員
戸浦 善彦

「さいかい力」を創造する観光創りにについて

問 県が広域周遊型着地型旅行商品造成・販売促進業務を委託する中で本市の対応を伺う。

市長 観光協会と共に「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の横瀬浦や中浦ジュリアン公園の取り込みに向けて取り組んでいる状況である。



「さいかい市民」の不安、不満解消のまち創りにについて

問 児童生徒の集団登校における実態と安全対策、環境対策等を伺う。

教育長 3名のスクールガードリーダーを配置し、学校を定期的に巡回するとともに、学校やスクールガードに対して、警備のポイントや安全管理体制の改善点検等について指導・助言を行っている。今後も関

係機関と連携し、児童生徒の登下校の安全確保に努める。

問 海上における漁業者らの安全操業等の妨げになる浮遊ごみ等の除去対策について伺う。

市長 大村湾をきれいにする会における、浮遊ごみ除去対策事業のほか海岸付近に浮遊するごみや海岸漂着物については、長崎県海岸漂着物地域対策事業などの補助事業があり、今後これらの事業を活用しながら対応したい。

問 台風や大雨後に迅速な処理ができるよう事務的な改善ができないか。

市民環境部長 大村湾をきれいにする会の事務局がある大村市に対し、そのような意見があり、要望として上げられないか検討をお願いする。

問 米海軍基地を抱える自治体として、今後の危機管理体制の構築と環境整備について伺う。

市長 基地対策を初め、ここ数年の度重なる台風の襲来や大雨等の自然災害も含めた危機管理体制の確立は急務であり、4月の組織機構の再編で地域防災マネージャーの資格を有する職員を配置した危機管理と基地対策に特化した部署を設置する。

問 LACC夜間航行の件で、佐世保市と協議はなされたのか。

市長 佐世保市との協議は行っていないが、佐世保港運営委員会に係る調整会議で西海市の立場を表明した。



一 般 質 問



たがわまさき 議員
田川 正毅

▼漁業振興をはかれ!!

問 西海市の基幹産業である漁業が厳しい状況であると思う。漁業の現状認識を伺う。

市長 本市の漁業は多種多様な魚が漁獲され、基幹産業として地域の発展に寄与してきた。現状は魚価の低迷と水産資源の減少、就業者の高齢化等多くの課題に直面している。また、漁協の運営にも将来的な支障が懸念されている。

問 漁業推進のための基本姿勢と具体的な取組みは。

市長 漁業経営体の収益性の向上、浜の活性化、持続可能な漁場づくりを基本方針とする。具体的に漁家子弟を対象とした新規就業者の確保、漁業士への活動支援、共同利用施設の再編、流通販売機能の再編強化や種苗放流、磯焼け対策としての藻場回復事業、漁港整備を推進する。

問 漁業者数の実態について、平成25年度、西海市漁業者数は1、667名、うち20代・30代22名、40代114名、50代315名、60歳

以上1、216名である。専門職員
の配置の考えは。また、販売や商品
開発について伺う。

市長 水産関係の見識のある職員を配置する。販売ルートの確保を行い、加工場についても言葉だけではなく本気で考えている。

副市長 販売については、今後は専門的にブランド振興部で、農林・水産・商工・観光のブランド底上げを行いたい。

問 西海市4漁協の合併について市の方針を伺う。

市長 市内4漁協・県漁連・信漁連及び水産課を構成員として平成26年に西海市漁業協同組合合併研究会を立ち上げた。漁業就業者の減少が続く中、水揚げ減少や共同利用施設の運用経費の負担増加など共通の理解が得られている。漁協の基盤強化には最大限の支援を注ぐ。

問 西海市の海の安全対策について伺う。

市長 海上保安部の指導のもと安全操業の促進に努める。漁業者による監視体制については窓口を漁協において、安全対策協議会に流す方向である。地元業者の安全活動への財政支援は現状を見て考える。



なかおきよとし 議員
中尾 清敏

▼農業振興について

問 小規模生産者にとって直売所での販売収入は貴重な収入源である。西海市の自給力向上、地産地消、6次産業化を更に進める上で各直売所、加工所等との連絡協議会や福祉関係企業等を含めた行政主導のもと、新たに立ち上げるべきではないか。

市長 農産物は時期を過ぎると品薄状態になることから需要と供給のバランスを確認する必要がある。供給側となる直売所、加工所連絡協議会から話を伺い、前向きに検討する。

▼市内観光、イベント等のPRについて

問 外海から横瀬まで続く国道サンセットロードを含め、西海市には多くの観光資源が存在する。PR活動は十分なのか。

市長 昨年度からプログライターを雇用し、イベントや伝統芸能、生業、観光施設、景勝地等の取材を行い、市のホームページに掲載してい

るほか、サンセットロードや国道206号線のドライブを誘導する為に市内の観光スポットを掲載し、PRに努めている。

更に、福岡を中心としたバスツアー誘客の為に新聞やメールマガジン等の告知、PR用のポスター制作、若者層向けの観光パンフレットの作成やSNSの活用など、広告効果を上げる取り組みを予定している。

問 第8回大鍋まつりが西海スポーツガーデンにおいて開催されたが感想とPRについて伺う。

副市長 集計では約1万5、000名の来場者があり、例年よりもお客様が並んでくれたと出店者も喜んでいた。西海市出身の料理人や市の各種団体が工夫を凝らして作った鍋や山本譲二氏の歌謡ショー等、創意工夫もあり、大成功だったと思う。情報観光課長 NHKのラジオのほか、西日本新聞、長崎新聞で告知を行った。



宮崎県西都市のもつ鍋は完売!

あなたも傍聴してみませんか？

西海市議会の本会議は公開されており、
どなたでも自由に傍聴できます。

1：場 所 本会議場（西海市議会本庁舎3階）

2：人 数 60人

3：受付場所 本会議場前傍聴受付

- ・受付の際、所定の用紙に住所氏名等を記入して頂きます。
- ・会議開始前から受付を開始し、会議中も随時受け付けます。

「議会だより」の 表紙写真に応募してみませんか？

市民の皆さまへ市議会の活動をお伝えするため、年4回「議会だより」を発行しておりますが、より印象深く、皆さまに興味を持っていただけるよう、掲載する写真を公募し、皆さまと共に良い紙面づくりを目指しています。

【応募要領等】

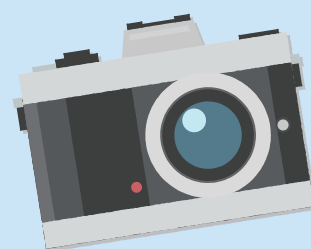
応募資格：不問

募集する写真：市内で概ね1年以内に撮影された風景や建物、イベントの写真で未発表のもの
募集期間：通年募集

審査方法：発行号毎の締切より起算して1年以内に応募された写真を対象として審査します。

●**応募要領や応募用紙など、詳細につきましては、[西海市ホームページ](#)をご覧くださいか、[議会事務局](#)においても配布しておりますので、お尋ねください。**

応募いただき、写真が採用された方には1,000円分のQUOカードを進呈いたします。
たくさんのご応募お待ちしております。



西海市議会の会議録が、インターネットでご覧になれます

西海市ホームページ画面



左記の西海市ホームページから「市議会」→「審議結果・会議録」とクリックし、（会議録の閲覧は会議録検索システムをご利用ください）の右の「**こちらをクリック**」をクリックすると、下記の会議録検索システム画面へ移動します。

会議録検索システム画面



① 簡単キーワード検索

入力されたキーワードを検索します。スペースで区切ることにより、最大4語まで検索します。年や発言者は全てが対象となります。

② 詳しく探す・発言者から探す・会議録を閲覧する

各検索・閲覧画面を開きます。

③ 発言集作成、議会用語集

発言集作成画面・議会用語説明画面を開きます。

④ 話題のキーワード

よく検索されるキーワードが自動表示されます。

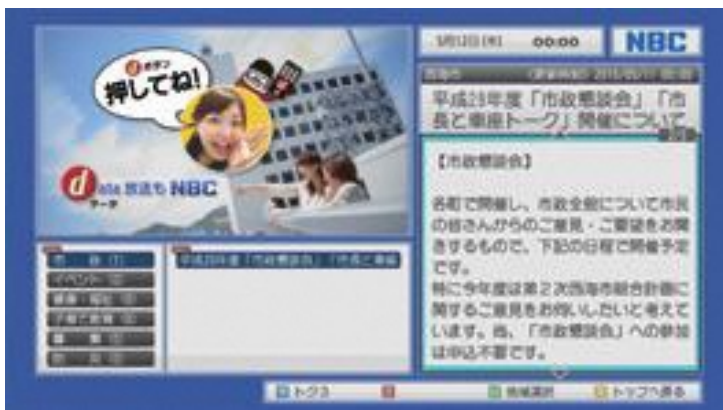
※詳しい使い方は、**⑤「使い方の説明」**をご覧ください。

西海市の情報をテレビ画面上で確認できるようになりました！



地上デジタルテレビのチャンネルをNBC長崎放送に合わせてリモコンの@ボタンを押すと、いつでも手軽に西海市が発信する情報を見ることが出来ます。テレビの地デジ化が完了し、長崎県内で地デジの電波が受信可能な場所であれば、無料で閲覧が可能です。(実施している他自治体の情報も閲覧可能) 配信時のアクセス

集中による通信障害の心配もありません。6項目に分けてくらしに役立つ情報を発信していますが、**議会定例会前には議会の日程や市政一般質問の登壇順、質問項目なども発信しております。**
ぜひ活用ください。



①チャンネルをNBC長崎放送に合わせてリモコンのdボタンを押す

②「自治体情報」を選択し、リモコンの緑のボタン「地域選択」を押した後「西海市」を選択

③6項目から1項目選択

④確認したい内容を選択すると右側に詳細が表示される



西海町在住

山脇 正博

一老人のつぶやき。 西海市交通弱者の 対応は？

先日、新聞で市の対応が、市長の課題だと掲載されていた。

この件で市は、マイクロバスを運行するよ
うな事の由、はたして、それが市民の思う利
便性のあるものにな
るだろうか。

そこで私は提案し
たい。西海市の地域
を考えると、各地区
が分散している特徴
がある。それゆえに、
バスの運行を考えると
難しい面があると思
う。



市がその人達を認
定して、「地域住民タ
クシー」を始めれば？
と思う。運行方法な
ど、様々な困難があ
りそうだが、市長、議
会をはじめ、市職員

そこで、私は考えて
みた。それはすでに
他県でも取り入れら
れつつあることではあ
るが、「住民タクシー」
を始めることが良い
のではないかとの考え
が浮かんだ。

各地区には、退職
後、そのことに協力
できる人材がいると
思う。

の英知を持って、これ
を実現したならば、交
通弱者にとって、うれ
しいことになるのでは
ないだろうか。
市長他関係者にお
願いたい。
「時間は待ってけれ
ない」
老人の願いである。

郵便はがき

857-2392

郵送される
場合は62円
切手を貼っ
て下さい。

長崎県西海市大瀬戸町瀬戸檜浦郷2222番地

西海市役所 議会事務局
「議会広報広聴委員会」行

(議会だより第49号)

裏表紙に西海市議会
クイズがあるよ！
議会だよりを
よく読んで解答してね！



第5回 西海市議会クイズ

ヒント

答えは全て本誌の中にあります。誌面をよく読んでお答えください。

- (1) 平成29年第4回議会定例会で決定された産業建設常任委員会の閉会中の継続調査の申し出事項は？
- ① スクールバスについて
- ② 有害鳥獣対策について
- ③ 産業の振興について
- (2) 第4回目の市民と議会のつどいで議員が訪問した高校は西彼杵高校ともう一つはどここの高校？
- ① 大崎高校
- ② 西彼農業高校
- ③ 佐世保南高校
- (3) 第8回大鍋まつりの来場者数は？
- ① 約2千人
- ② 約1万5千人
- ③ 約3万人
- (4) 市役所の組織改編による産業振興部の改編後の名称は？
- ① さいかい力創造部
- ② 西海ブランド振興部
- ③ 西海パリグッド部

応募方法

下のがきを切り取り、各問題の回答欄に答えの番号を記入し、郵便でお送り頂るか、お近くの総合支所又は市役所本庁議会事務局へご提出ください。

締切

平成30年3月9日
(金) 消印有効(8日支所提出分まで有効)

特典

全問正解者の中から抽選で5名の方に、Q.U.Oカード(1000円分)をプレゼントいたします。なお、当選者の発表は、発送をもって代えさせていただきます。

「個人情報取扱について」

ご記入頂きました個人情報、賞品発送などの目的以外には利用いたしません。



編集後記

14年目を迎えようとする西海市。その時々の市長・職員・議員が議論を交わし合い、皆様方の力を借りながら創り上げてきた西海市です。しかしながら、十分納得の出来るような結果ばかりとは言えません。これまで積み上げてきた政策等の良い所、悪い所をきちんと精査しながら進むべきだと考えております。4月に新設の「島の暮らし支援室」や「産業振興部」改め「西海ブランド振興部」などを織り込んだ組織改編が行われます。まさに、心機一転の心構えを、市長・職員・議員、そして、皆様方と共に持ち、新時代への西海市を築き上げたいと考えております。終わりに行く平成の響きに、「一抹の寂しさ」を覚えますが、新たな元号に期待と希望を持ち、皆様方と共に歩ければ幸いです。
(平井 満洋)



議会広報広聴委員会

第5回西海市議会クイズ回答

(1)	(2)	(3)	(4)
-----	-----	-----	-----

ふりがな

氏名

住所

年齢 歳

議会だよりについての感想またはご意見



議会
だより

No.49
平成30年
2月2日発行

The SAIKAI
Municipal
Assembly
News

発行責任者 ◎西海市議会議長
編集 ◎議会広報広聴委員会

〒857-2392 長崎県西海市大瀬戸町瀬戸樋浦郷2222
TEL.0959-37-0075



この「西海市議会だより」は環境に配慮し再生紙と、揮発性有機化合物(VOC)の発生を低減できる植物油インキを使用しています。